

「駅ホームにおける安全性向上のための検討会」 中間とりまとめ概要(平成28年12月)

1. 駅ホームにおける更なる安全性向上に向けた対策の考え方

- **ハード面**: ホームドアと内方線付き点状ブロックの整備を中心に転落防止対策を講じ、その整備の加速化を図る。
- **ソフト面**: 駅員等による乗車・降車の誘導案内を中心に転落防止対策を講じる。
- **フォローアップ**: 国土交通省において、検討会を活用して進捗管理を実施し、ハード・ソフト両面の取組状況を公表するとともに、好事例を水平展開する等、鉄道事業者の積極的な取組を促進していく。

2. 主なハード対策

- **ホームドア**: (引き続き 10 万人以上の駅を優先的に整備)
 - **利用者 10 万人以上の駅**:
 - (ア) 整備条件*を満たしている場合、原則として平成 32 年度までに整備。
※整備条件…車両の扉位置一定、ホーム幅を確保できる等
 - (イ) 整備条件を満たしていない場合、
 - ・新しいタイプのホームドアにより対応する場合、概ね 5 年を目途に整備/整備着手。
 - ・車両更新により対応する場合、更新後速やかに整備。
 - ・車種等の混在が多く扉位置不揃いの解消が困難な場合等、ソフト対策を重点実施。
 - **利用者 10 万人未満の駅**: 駅の状況等を勘案した上で、10 万人以上と同程度に優先的な整備が必要と認められる場合に整備。
 - **技術面、コスト面の課題に対応可能な新たなタイプのホームドアを「新型ホームドア導入検討の手引き」も活用し、積極的に普及促進。**また、コスト低減等による一層の普及促進のため、国土交通省と鉄道事業者等による「新型ホームドアに関する技術WG(仮)」を設置。
→交通政策基本計画(平成 27 年 2 月閣議決定)において、平成 32 年度に約 800 駅としている整備目標について、できる限りの前倒しを図る。
 - **国は、鉄道事業者に対して必要な支援を行うとともに、地方公共団体に対して支援を求めることとし、引き続き、三位一体の取組により進めていく。**
- **内方線付き点状ブロック**: (10 万人以上の駅は概ね整備済み)
 - **1 万人以上の駅**: 平成 30 年度までに整備。
 - **3 千人以上の駅**: 可能な限り速やかに整備。

3. 主なソフト対策

- **駅員等による対応の強化**:
 - ホームドア未整備駅において、誘導案内の申し出のあった視覚障害のある人に対し、**駅員等による誘導案内を実施、危険時に視覚障害のある人が明確に気づく声かけ。**
 - 駅員等の接遇能力向上に向けた教育の充実。
- **旅客による声かけ、誘導案内の促進等**:
 - 視覚障害のある人に対する具体的な誘導案内の方法を盛り込むとともに、歩きスマホ等の迷惑行為を行わないよう呼びかける啓発を実施。
- **心のバリアフリーの理解促進等**:
 - 「企業における汎用性のある研修プログラム」検討への協力、バリアフリー教室の内容の充実等。
- **駅における盲導犬訓練等への協力**

4. その他の安全性向上に資する考え方

- 短期的に結論を得ることが難しいもの等であり、安全性向上等に資するものは検討を継続。
視覚障害者誘導用ブロックの敷設基準、明度・輝度・コントラストへの配慮、ボランティア活用の検討 等

駅ホームの更なる安全性向上に向けた取組みについて

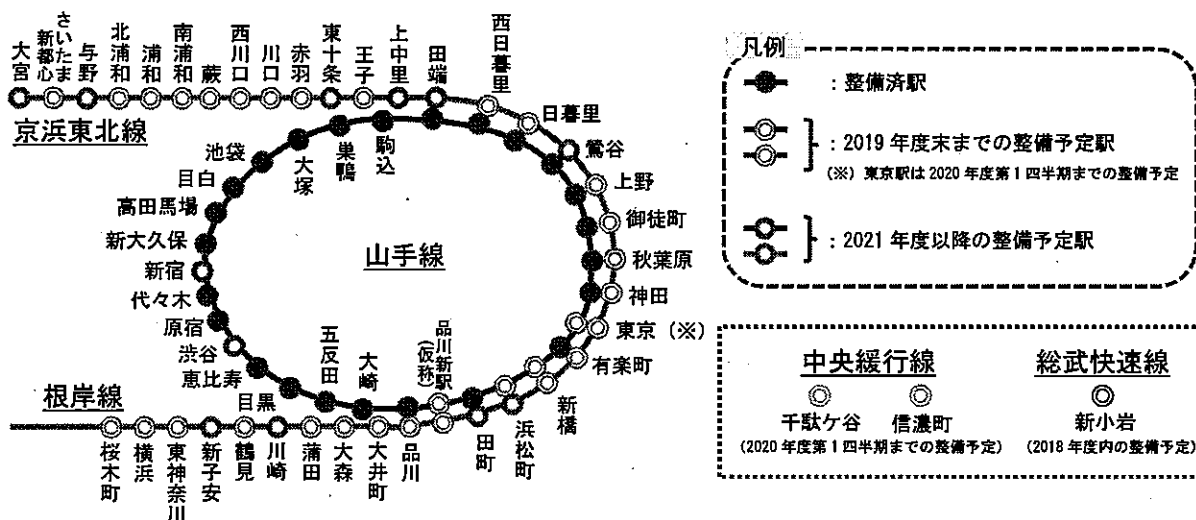
JR東日本では、お客さまの列車との接触や線路への転落を防止する対策として、山手線や京浜東北・根岸線等へのホームドア導入や、内方線付き点状ブロックの整備を進めてきました。

駅ホームの更なる安全性向上に向け、ホームドア整備時期の前倒し等の対策を進めていくこととしましたので、お知らせいたします。

1. ホームドア整備時期の前倒し

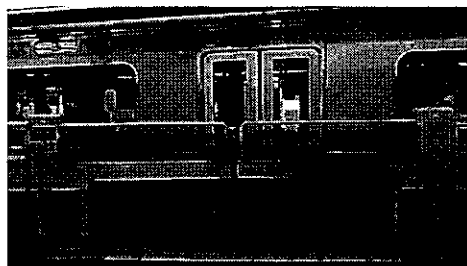
2020年度末までに山手線4駅、京浜東北・根岸線27駅、総武快速線新小岩駅及び中央緩行線千駄ヶ谷・信濃町駅の計34駅にホームドアを整備する計画で進めておりましたが、この度、計画の見直しを行い、整備時期を前倒しすることといたしました。

具体的には、京浜東北線蕨駅を含め2020年度末までに整備予定としていた34駅のうち30駅について、施工計画の見直しや工事着手時期の前倒し等により、2019年度末までの整備完了を目指してまいります。



また、現在、横浜線町田駅で試行している「スマートホームドア®」につきましては、実用化を目指した検証作業を進めてまいります。

※「スマートホームドア®」は、JR東日本メカトロニクス㈱の登録商標です。

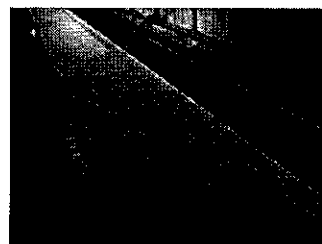


スマートホームドア® (横浜線町田駅)

2. CPライン(※)の整備拡大

CPラインについては、これまでに10駅(渋谷駅、蒲田駅、横浜駅、町田駅、長津田駅、大宮駅、武蔵浦和駅、吉祥寺駅、国分寺駅、佐貫駅)に整備しているところですが、2017年3月末までに、蕨駅のほか、4駅(池袋駅、四ツ谷駅、武蔵小杉駅、鎌倉駅)にも整備を進め、引き続き設置効果等の確認を進めてまいります。

CPライン(※) : CPとは、「Color Psychology (色彩心理)」の略で、人が危険と感じる度合いが高い色彩を用いてラインを引くことにより、視覚的・心理的にホーム端部の危険性に対して注意喚起を行うものです。



CPライン施工例

3. 目の不自由なお客さまへの対応

(1) ガードマンの増配置

目の不自由なお客さまへのお声かけや案内誘導、乗車するまでの見守りをさらに充実させることを目的として、ホームドアが設置されておらず、お客さまのご利用が多い駅を中心に2017年2月中をめどに、34駅へガードマンを増配置します。

(2) 「声かけ・サポート」運動強化キャンペーン期間の延長

付き添いがいらない目の不自由なお客さまや、お困りのお客さまに対してお声かけを行う「声かけ・サポート」運動に、全社員で取り組んでいます。2016年11月25日から2017年1月20日を強化キャンペーン期間として、首都圏の鉄道事業者と連携して取り組んでまいりましたが、この期間を2017年3月31日まで延長いたしました。

【別紙】

2016年12月13日発表時点

ホームドア整備計画一覧表

2016年12月13日現在

線区	既設駅数	2020年度末までに整備する駅数	2021年度以降に整備する駅数	合計
山手線	24(19)	4(3)	2(2 [※])	30(24)
京浜東北 ・根岸線	0	27(24)	10(4 [※])	37(28)
その他	0	3(1)	今後計画を策定する	3(1)
合計		58(47)	12(6)	70(53)

()内は乗降10万人以上駅の駅数

※山手線2駅(新宿、渋谷)、京浜東北線4駅(大宮、浜松町、田町、川崎)については、駅改良工事等に合わせ整備する。



今回

ホームドア整備計画一覧表

2017年2月1日現在

線区	既設駅数	2019年度末までに整備する駅数	2020年度第1四半期までに整備する駅数	2021年度以降に整備する駅数	合計
山手線	24(19)	3(2)	1(1)	2(2 [※])	30(24)
京浜東北 ・根岸線	0	26(23)	1(1)	10(4 [※])	37(28)
その他	0	1(1)	2(0)	今後計画を策定する	3(1)
合計		58(47)		12(6)	70(53)

()内は乗降10万人以上駅の駅数

※山手線2駅(新宿、渋谷)、京浜東北線4駅(大宮、浜松町、田町、川崎)については、駅改良工事等に合わせ整備する。

2017年1月12日

2020年度末までに新たに8駅、2021年度以降にさらに23駅

ホームドアの整備を積極的に推進します

～あわせて内方線付き点状ブロックの整備を推進～

東武鉄道株式会社

東武鉄道（本社：東京都墨田区）では、お客様により安全に安心して駅ホームをご利用いただけるよう、すでにホームドアを3駅に整備していますが、2020年度末までに新たに8駅、2021年度以降にさらに23駅にホームドアを整備します。

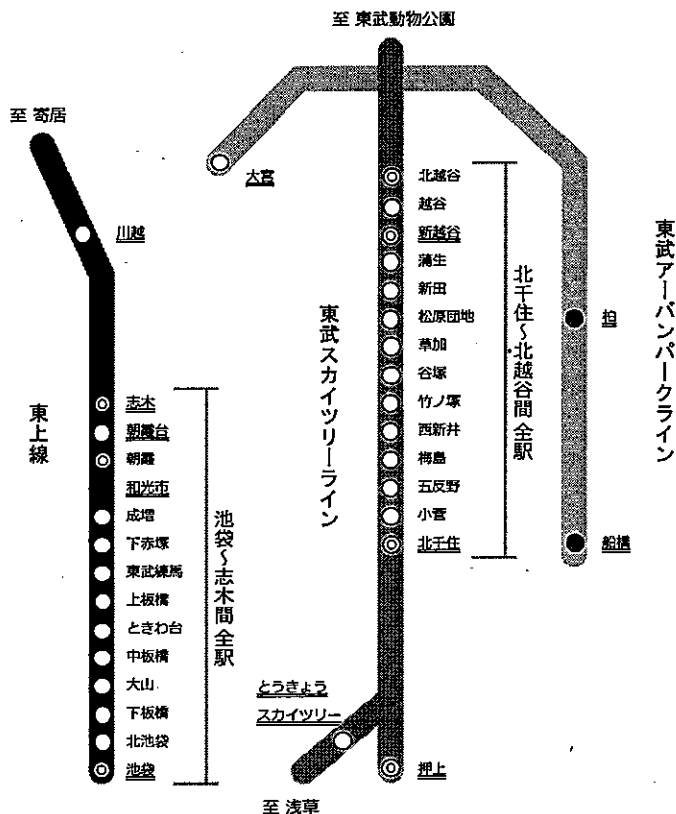
これは2016年12月に国土交通省から示された「駅ホームにおける安全性向上のための検討会（中間とりまとめ）」の整備方針に則り行うもので、ホームドアの優先的な整備が求められる1日のご利用者数10万人以上の駅に加え、2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックの競技会場最寄駅（予定）においてホームドアの整備を優先的に推進するほか、当社線で特にご利用者数の多い東武スカイツリーライン 北千住～北越谷間、東上線 池袋～志木間においてホームドアのエリア整備も推進していきます。

また、内方線付き点状ブロック整備駅拡大も進め、駅ホームのさらなる安全性向上を図ります。

なお、整備にあたっては、国、関係自治体のご支援のもと、鋭意進めてまいります。

概要は別紙のとおりです。

以上



△ ホームドア（和光市駅）

【凡例】

- 整備済
 - 整備中（2017年度整備予定）
 - ◎ 2020年度末までに整備予定駅
 - 2021年度以降の整備予定駅
- 駅名 1日のご利用者数10万人以上

※お問い合わせは、東武鉄道お客さまセンター ☎03-5962-0102

ホームドア等の整備について

1 ホームドアの整備について

(1) 2020年度末までの整備駅：8駅

【東武スカイツリーライン】

押上^(※2)、北千住(5・6・7番ホーム)^(※2)、新越谷、北越谷^(※3)

【東上線】

池袋、朝霞^(※3)、志木、川越^(※4)



△ ホームドア (和光市駅)

(2) 2021年度以降の整備駅：23駅

【東武スカイツリーライン】

とうきょうスカイツリー、北千住(1・2・3・4番・特急ホーム)^(※5)、小菅、五反野、梅島、西新井、竹ノ塚、谷塚、草加、松原団地、新田、蒲生、越谷

【東武アーバンパークライン】

大宮

【東上線】

北池袋、下板橋、大山、中板橋、ときわ台、上板橋、東武練馬、下赤塚、成増、朝霞台

※1…下線は1日のご利用者10万人以上の駅(2015年度実績)

※2…東京メトロ共同使用駅

※3…東京オリンピック・パラリンピック 競技会場最寄駅(予定)

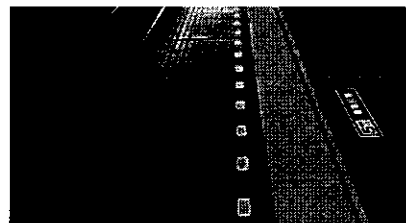
※4…川越駅は2017年度に整備予定

※5…北千住駅は2020年度末までの整備駅として計上

2 内方線付き点状ブロックの整備について

内方線付き点状ブロックについては、1日のご利用者数1万人以上の駅について順次整備を進めており、2015年度末時点で99駅中56駅の整備を完了しています(整備率56%)。

今後、2018年度を目標に、1日のご利用者数1万人以上の全99駅に内方線付き点状ブロックを整備いたします。



△ 内方線付き点状ブロック (イメージ)

以上



NEWS RELEASE



第16-089号
2017年2月3日

駅ホームにおける安全性向上 西武鉄道の主要な6駅にホームドアを整備します

西武鉄道株式会社（本社：埼玉県所沢市、社長：若林 久）では、駅ホームにおける更なる安全性向上のため、ホームドアの整備を行います。

現在、池袋駅において、ホームドアの整備を進めており、2017年度末に完了する予定です。引き続き、1日あたりの乗降人員10万人以上の駅（将来の想定含む）について、2020年度を目途とし、ホームドアの整備を計画します。これにより、当社の計6駅にホームドアが整備されます。

また、内方線付き点状ブロックの整備も順次進めており、1日あたりの乗降人員1万人以上の駅については、2017年度中に完了させる予定です。

なお、ホームドア、内方線付き点状ブロックの整備については、国及び自治体と三位一体となり取り組んでまいります。詳細は、下記のとおりです。

記

1. ホームドアを整備する駅

池袋駅（整備中）

練馬駅

西武新宿駅

高田馬場駅

所沢駅

国分寺駅

※この他の駅についても、今後整備を検討してまいります。



池袋駅ホームドア

2. 内方線付き点状ブロックの整備状況

2016年度末 乗降人員1万人以上駅 58駅/67駅（87%）

2017年度末 乗降人員1万人以上駅 67駅/67駅（100%）

※引き続き、乗降人員1万人未満の駅についても整備を進めてまいります。

以上

◇お客さまのお問合せ先

西武鉄道お客さまセンター TEL.(04)2996-2888

音声ガイダンスのご案内により、メニューをお選びください。

[営業時間：平日9時～19時 土休日9時～17時]